



# 筑波社会科研究

## 第 3 号



### <研究論文>

- 水利文化圏より見た江南開発史  
— 文化圏学習への一試論 — ..... 長瀬 守 ( 1 )
- 現代西ドイツ基礎学校における「事実教授」  
— バーデン・ビュルテンベルク邦の場合 — ..... 大友 秀明 ( 9 )
- 内在的真理の伝達をめぐる「教える者」と「学ぶ者」との関係  
— S. キルケゴールの理論を手がかりとして — ..... 須藤 茂明 ( 20 )
- 明治初期における「世界」認識の教育  
— 小学校用教科書, 特に, 地理教科書  
に描かれた「世界」の考察を中心として — ..... 玉井 正史 ( 28 )
- GCE試験にみるイギリスの地図指導 ..... 飯田 誠 ( 36 )

### <研究ノート>

- 国民学校における「郷土の観察」の特色と意義 ..... 寺本 潔 ( 44 )

### <研究会報告>

- I. テーマ「『現代社会』の指導計画と実践をめぐる」  
..... 梶哲夫, 高柳英雄, 古山良平 ( 54 )
- II. テーマ「教科書分析の課題と方法(その1)」  
..... 木山徹哉, 宮蘭衛, 松本敏, 松岡尚敏 ( 65 )

### <書 評>

- 小林信郎・梶哲夫編, 『「現代社会」の単元構成と展開』 ..... 松本 敏 ( 74 )
- 前田優作・吉田恭爾著, 『老人福祉・家族福祉』 ..... 中村 八朗 ( 76 )

### <学会彙報>

- 昭和58年度 学会活動報告 ..... ( 78 )
- 教育研究科 昭和57年度修了生修士論文一覧 ..... ( 80 )



筑波大学社会科教育学会

1 9 8 4

# 筑波大学社会科教育学会会則

- 第 1 条(名 称) 本会は筑波大学社会科教育学会と称する。
- 第 2 条(目 的) 本会は社会科教育に関する研究を行い、あわせて会員相互の連絡をはかることを目的とする。
- 第 3 条(活 動) 本会は前条の目的を達成するために、次の活動を行う。
1. 研究会の開催
  2. 機関誌の発行
  3. 資料の収集・交換
  4. その他必要と認められるもの
- 第 4 条(会 員) 本会の会員は、筑波大学の出身者および本会の趣旨に賛同する者で、所定の会費を納入した者とする。
2. 本会に賛助会員をおくことができる。賛助会員は、会の趣旨に賛同し、賛助会費を納める者とする。
- 第 5 条(本 部) 本会の本部は、筑波大学教育学系社会科教育学研究室におく。
- 第 6 条(役 員) 本会に次の役員をおく。
- 会 長 1 名      副会長 1 名      評議員 若干名  
幹 事 若干名      会計監査 2 名
2. 評議員および会計監査は総会において選出する。
  3. 会長および副会長は評議員会で選出する。
  4. 幹事は総会の承認を得て、会長が委嘱する。
  5. 役員は任期は2年とする。ただし再選を妨げない。
- 第 7 条(役員の仕事) 会長は本会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
  3. 評議員は評議員会を構成し、重要な会務を運営する。
  4. 幹事は幹事会を構成し、会長をたすけて会務を運営する。
  5. 会計監査は、本会の会計を監査する。
- 第 8 条(顧 問) 本会には顧問をおくことができる。顧問は総会の承認を得て会長が委嘱する。
- 第 9 条(会 議) 本会の会議は、総会、評議員会および幹事会とする。
2. 総会は毎年1回会長が招集し、会員の過半数の出席によって成立する。ただし、会員は委任状をもって議決権を他の会員に委任することができる。
  3. 必要ある場合、会長は臨時総会を招集することができる。
  4. 総会の議決決定は、出席会員の過半数をもって行う。
  5. 評議員会は、会長、副会長、評議員をもって構成し、会長の招集によって重要な会務を審議する。
  6. 幹事会は会長が招集する。
- 第 10 条(会 計) 本会の経費は、会費、寄付金、その他をもってこれに充てる。
2. 本会の会費は総会で定める。
  3. 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。
- 第 11 条(会則の改正) 会則の改正は、総会の議を経なければならない。
- 付 則                      この会則は昭和57年2月11日から施行する。

## ＜ 編集規定 ＞

- (1) 本誌は筑波大学社会科教育学会の機関誌であり、年一回発行する。
- (2) 本誌は本学会会員の研究論文、研究ノート、書評、研究会報告、学会彙報、その他会員の研究活動に関する記事を載掲する。
- (3) 本誌に論文その他を掲載しようとする会員は、所定の執筆要領に従い「編集委員会」宛に送付する。
- (4) 原稿の掲載は編集委員会の審議を経て決定する。
- (5) 掲載予定の原稿について、編集委員会は執筆者との協議を通じ、内容に変更を求めることがある。
- (6) 本誌に掲載された論文その他は原則として返還しない。
- (7) 執筆者による校正は第一校までとし、再校以後は原則として編集委員会の責任において行う。

## ＜ 執筆要領 ＞

- (1) 論文原稿は未発表のものに限る。(ただし、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない。)
- (2) 編集委員会が特に枚数を指定する以外の原稿は、図・表などを含めて、原則として研究論文が30枚以内、研究ノートが15枚以内、書評が5枚以内とする。
- (3) 原稿は、400字詰横書きとする。
- (4) 原稿には、必ず英文タイトルを添付する。
- (5) 原稿には、氏名(フリガナ)、所属(職名その他を含む)、連絡先を付記し、筑波大学社会科教育学会「筑波社会科研究」編集委員会宛に送付するものとする。
- (6) 図版等で特定の費用を要する場合、執筆者に負担させることがある。
- (7) 原稿メ切は毎年10月31日、発行は翌年2月11日とする。

---

### 筑波社会科研究 第3号

昭和59年2月11日 印刷・発行

編 集 「筑波社会科研究」編集委員会  
代表者 梶 哲 夫

発 行 筑波大学社会科教育学会  
会 長 朝 倉 隆太郎

事務局 茨城県新治郡桜村天王台1-1-1 (〒305)  
筑波大学教育学系 社会科教育学研究室  
TEL 0298-53-6822, 6729~31

印 刷 甲 文 堂  
東京都文京区大塚1-4-7 (〒112)  
TEL 03-947-0844

---

TSUKUBA ANNALS  
FOR  
THE SOCIAL STUDIES EDUCATION

No.3

1984

CONTENTS

Articles

- The History of Development in the Yang-tze River Delta  
from the Viewpoint of the Hydro Culture Area . . . Mamoru NAGASE ( 1 )  
“*Sachunterricht*” at the Contemporary  
Fundamental School in the West Germany . . . . . Hideaki OHTOMO ( 9 )  
Relation between the Teacher and Learner in Conveying Immanent  
Turth: A Study Based on the Theory of Sören Kierkegaard  
. . . . . Shigeaki SUDOH (20)  
Education for the “World” Understanding in Early Meiji Period:  
The “World as Treated in the Elementary Georgraphy Textbooks  
. . . . . Masafumi TAMAI (28)  
Map Teaching of Secondary School in England:  
An Analis of GCE Examination . . . . . Makoto IIDA (36)

Research Note

- Characteristics and their Implications of “*Kyôdo no Kansatsu*”  
(Home Georgraphy) in the Elementary Schools during the World  
War II . . . . . Kiyoshi TERAMOTO (44)

Presentation at Research Meetings

- Guidance Plan for “Contemporary Society” in High School  
Social Studies Curriculum and Its Practical Development  
. . . Tetsuo KAJI, Hideo TAKAYANAGI, and Ryôhei FURUYAMA (54)  
The Aim and the Method of the Textbook Analysis  
. . . Tetsuya KIYAMA, Mamoru MIYAZONO, Satoshi MATSUMOTO,  
and Naotoshi MATSUOKA (65)

Book Review

- Shinro KOBAYASHI and Tetsuo KAJI (eds.) : *Organization and  
Development of Units of “Contemporary Society” in the High  
School Social Studies*. . . . . Satoshi MATSUMOTO (74)  
Daisaku MAEDA and Kyoji YOSHIDA: *Old Age Welfare and Family  
Welfare* . . . . . Hachirô NAKAMURA (76)

News from Editorial Board

- List of the Master Theses Accepted by the Graduate School  
of Education in 1982 . . . . . (78)  
Activities of the Association for the Social Studies  
Education in 1983. . . . . (80)

THE ASSOCIATION FOR THE SOCIAL STUDIES EDUCATION  
THE UNIVERSITY OF TSUKUBA